

令和5年度第1回岐阜市環境審議会 会議録

(●…委員の意見 ⇒…事務局の回答)

<協議事項(1) 会長及び副会長の選出について>

- ・岐阜市環境基本条例第の規定に基づき、委員の互選により会長及び副会長を選出。

<協議事項(2) 専門部会について>

- ・環境基本計画の進捗状況について点検・評価する専門部会である「環境基本計画評価部会」が本審議会に設置されており、環境基本条例の規定に基づき、審議会の会長が部会委員を指名。

<報告事項(1) 岐阜市地球温暖化対策実行計画の改定について>

- 岐阜市地球温暖化対策実行計画の概要版3ページ②に、運輸部門と民生家庭部門からの二酸化炭素排出量が多いとあり、右の表を見ると、国と県に比べて、岐阜市が倍くらいの多さになっている。特に、民生家庭部門が多いと思うが、国や県の平均の人口と比べて、岐阜市の人口が多いからか。⇒本市では、大規模な工場が少ないため、工場等から排出される産業部門の占める割合が低くなっている。あくまで相対的な割合であり、その分、家庭部門と運輸部門の占める割合が高くなっている。

- 3ページ③の再生可能エネルギーの導入目標について、日照時間を最大限に生かすために、太陽光発電を最大限活用するということで、2050年度までに7倍近くに導入を促進するとあるが、7倍という数字は、太陽光パネルを設置した際にどのくらいの面積になるのか、分かれば教えていただきたい。

⇒太陽光パネルの性能によって設置面積が異なるため、そういった試算は行っていないが、本市の状況から推計し、7倍という目標を設定している。

- 大きいと場所が必要になると思うが、山の中の木を切って、太陽光パネルが設置されている光景を見ることがあるので、そういったことがないようにしていただきたい。また、場所が必要ならば、岐阜市内にそういった適した場所があるかしっかり考えた上で、7倍という数字を持っていただきたいと思う。

⇒おっしゃる通り、太陽光パネルの設置に際しては、景観や災害の問題に考慮するよう言われているので、十分留意したいと思う。

- 太陽光パネルは、何年か経つと取り換えや処分が必要になると思う。2050年度までに、すでに設置している人が取り換えたり、設置していない人が新しく設置したりとなると、設置したはいいけど、処分する際にどうするのか、ごみの焼却と同じようになるのか心配。

また、岐阜市では車を持っている人が多く、バスの時間が合わないどうしても車を使うことになると思う。市民一人ひとりが、こういうことに気をつけたらCO₂が減ると分かるものがあるといいなと思う。

⇒太陽光パネルの設置が促進される一方で、初期に作られた太陽光パネルが劣化し、これを処分することが全国的にも大きな問題になっている。国でも全体的な取り扱いを検討しているところであり、今後、国の施策として整理されていくと思う。

また、生活の中でいかにCO₂を減らして行動するかについて、脱炭素の取り組みは、節電や節水、

ごみの減量、公共交通機関の利用、省エネ製品の購入など多岐にわたる。その中で、この省エネ行動をすると温室効果ガスが減って家計の負担軽減に繋がる、或いは、こういうことをすると健康の増進にも繋がるといった、「見える化」する取り組みが進んでいる。私たちも早い時期に、こうした行動にこうしたメリットがあることを、市民の皆様にも広く促していきたいと思うし、そういったものを作ったら、この場でもお知らせしたいと思う。

＜報告事項(2)「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック」の改訂について＞

●レッドデータブック・ブルーデータブックが2023年度版という事ですが、これは何年度からあるものか。

⇒平成27年3月に、初めてレッドリスト・ブルーリストを整理した。今回はその改定版。

●第2版ということで、初版と比較して大きな変化はあるか。

⇒市内で確認された動植物種は、前回の調査では5,381種であったが、今回の調査では5,809種で、多くの動植物を確認できた。そのうち、レッドリストとなる生き物は、前回は465種で今回は420種、ブルーリストとなる生き物は、前回は285種で今回は276種であった。数だけ見ると、それほど大きな変化はなかったが、調査員の方から、気候変動等の影響で、動物の個体数が少し減っていて、特に両性類や鳥類、貝類は、気温の上昇で住处となる水辺や湿地の場所が少なくなっているのので、今後の影響を見ていく必要があるという考察をいただいている。

＜報告事項(3) 岐阜市の環境施策について＞

●自己託送事業について、東部クリーンセンターで発電された電気を、市庁舎やリサイクルセンター、掛洞プラントに供給するということが、東部クリーンセンターの発電は以前からやっていることではないか。何が違うのか教えてほしい。

⇒これまで東部クリーンセンターでは、ごみを焼却することで生じる電気を、東部クリーンセンターで自己使用し、残った電気を売電していた。売電は、これまで国の固定買取制度が適用され、高い金額で買い取っていただいていたが、その適用がなくなり、一方、市庁舎や掛洞プラント等の施設の電気料金は非常に高騰している状況。

そこで、発電した電気をこれまで通り東部クリーンセンターで使用しつつ、売電していたものを市庁舎や掛洞プラント等に供給し、さらに余ったものを売電することにした。施設の電気料金が上がる中、東部クリーンセンターで発電した電気を使うことで、電気料金が軽減され、コストメリットが生じると考え、今年度8月から自己託送事業をスタートする予定。

●契約される電力会社は、今までは中部電力だったが、それ以外にもあるのか。

⇒中部電力には、送配電網の使用料金を支払うが、契約に関しては、最もコストメリットがある事業者を入札で決定し、このシステムを導入していただく予定。

●電力自由化になって、どこの電気でも買えるようになったし、発電した電気を少しでも使ってもらえればと思う。

●家庭用電気式生ごみ処理機の補助について、温風乾燥方式だと電気代はどのくらいかかるものか。

⇒最近の電気式生ごみ処理機は、それほどかからないと言われている。ある企業のものは、5円程度とホームページに記載されており、心配するほどはかからないと思う。

●長良川流域の散乱ごみ調査事業について、アプリやウェブページを利用して見える化するということだが、具体的にどのような目的でどのような活用を考えているか。

⇒岐阜県は海がない県だが、海がなくても海洋プラスチックの問題に取り組んでいかなければならないと、岐阜県が広く事業を展開している。プラスチックごみなどが海洋汚染を引き起こすことになるので、特に川の近くなどで、できる限りごみ拾いをしていこうという取り組み。

本市は清流長良川の地域であり、本年度、専用アプリを活用して、長良川の河川敷の中で、ごみがある地点の調査を2回にわたって行う。その結果を、岐阜県の専用アプリやウェブページに落とし込むことで、ごみ拾いがより効率的になるという仕組み。

また、個人や団体のごみ拾いの活動を発信することで、活動に参加する人が増えたり、別の団体も活動に取り組んだりして、取り組みの輪を広げていくことができればと考えている。

現在、長良川流域について調査をしているところなので、秋くらいには皆様にもお知らせし、活動にも参画してもらえたらと思う。

●ごみの問題は非常に大きい問題だと捉えている。

事業系ごみとプラスチックごみが、1番量が多いのかなと思うので、多いものからやっていくことで、全体としても減少し、地球温暖化に対してもいいのかなと思う。

岐阜市としては、どのような戦略でどこを重点的に行われるのか。

⇒ごみの排出量は、家庭系ごみと事業系ごみの大きく2つに分かれる。本市の家庭系ごみの分類は、紙類が約30%、生ごみが26%、プラスチック類が17%、その他、となっている。

家庭系ごみの削減には、市民の皆様にご協力いただく必要がある。令和4年4月からプラスチック製容器包装の分別収集を開始し、1年間で当初約2,000トンの資源化を見込んでいたが、市民の皆様のご協力をいただき、約4,000トンの資源化が進んだ。

同時に、家庭系の普通ごみも減少し、1年間で約9,000トンの減量となった。この9,000トンの減量というのは、平成25年度から令和3年度までの8年間でようやく達成できたもので、それを令和4年度の1年間だけで達成することができ、市民の皆様には感謝している。

引き続き、雑がみ回収による紙ごみの減量や、先ほどお話に挙げた生ごみの減量など、様々な施策を実施し、市民の皆様のライフスタイルに応じた取り組みをしていきたいと考えている。

また、事業系のごみであっても、本市は中小企業の方々が多く、家庭系のごみと一緒に排出されることがある。最近では、新型コロナウイルスの影響で社会経済活動が停滞し、ごみの量も大きな増加はなかったが、今後は活動が盛んになり、事業が活発になることで、事業系ごみの増加が見込まれるので、様々なアプローチを考えていきたいと思う。

＜その他＞

●先ほどの再生可能エネルギーを7倍にしていく計画について、性能の問題もあるとは思いますが、太陽光パネルが現在どれくらい、何平米あるのか分かれば推計できると思うし、それが達成できなければゼロカーボンが達成できない計画だと思うので、具体的な数字を示して進めていければと思う。

また、今日のこの会場が非常に寒かった。市役所ではおそらく27℃か28℃に設定されているかと思うが、それよりも下げて寒い中上着を着て行うよりも、環境について審議する会なので、半袖で来てくださいと案内されてもいいのではないかと。環境に良いことを具体的に進めながら、市民の意識も高めていく必要があると思う。

・個人的には、公用車のEV化などにも関心があるので、計画を進めていきながら、また状況を教えていただきたいと思う。